

# 月刊島民

中之島

Vol.69 2014 4/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)

橋を渡る人の「街事情」マガジン

本日は、  
お日柄もよく。



ナカノシマ大学

「続・ちゃんとした店って  
なんや?会議  
『旨い、道具の話』

申し込み受付中!



# 中之島とウェディングの いい関係。

取材・文／江口由夏  
大迫力(本誌)

## Nakanoshima Wedding

ここ数年で中之島に新たに加わったキーワードが「ウェディング」。オフィス街や歴史といった渋い一面とは異なる、華やかな中之島の一面を、ウェディング業界の最新の傾向と共に見ていこう。



写真／平野 愛

水晶橋のたもと、  
公会堂を臨むロケーション。

### 中之島 リバーワンダーランド

目下の最新施設、[中之島ラプセントラル]にあるウェディング会場。2階の独立型チャペルをはじめ、施設はすべて大阪を代表する空間デザイナー・間宮吉彦氏率いるインフィクスがデザイン。川に面したバンケットホールやパーティースペースなど、ロケーションを存分に活かした造りで、昼はもちろんライトアップされた中央公会堂が目の前にある夜も雰囲気はばっちり。上を走る高速道路が玉にキズかと思いきや、これによって全天候型の施設となった。

<http://riverwonderland.jp/>

ここ数年、中之島に新しくできた施設の多くが、ブライダルに関わっています。どんな理由があるのでしょうか？

中之島の強みは、都心部であり、ロケーションにも恵まれていることです。

遠方の親戚など結婚式へ参列する人のことを考えると、会場までのアクセスの良さは重要ですね。ただ一方で、あまり大阪に来たことのない人が1泊して帰るとい

め、時代の気分の移り変わりや経済の推移なども含めて、冷静に流行を分析・発信する。



この人に聞きました  
渡辺健太さん  
『Lei Wedding 阪神版』編集長

2004年の創刊から編集に携わる、結婚情報誌界の第一人者。結婚式を儀式性とエンターテインメント性の両面から見つ

業界研究から読み解く  
「中之島婚」①  
**なぜ、  
「中之島で結婚式」  
なのか？**



堂島川に面した[中之島ラプセントラル]のデッキ。留め袖姿のご婦人が歩くという中之島の新しい風景。

時に、いくら便利と言っても駅周辺だけで完結するのは寂しい。せっかく来たんだから、観光したいでしょう。そういうゲストへのおもてなしを考えると、駅に近ければいいという問題でもないんです。

### 川という最強のロケーション。

その点、川に囲まれた中之島にはもともと大阪らしい水の都の風景がある。やっぱりいい景色の方が自分たちの記憶に残るし、ゲストにも喜んでもらえる。アクセス至便で、なおかつロケーションが良い場所となると、中之島になるんです。

最近のウェディング広告は、太陽や空や緑などリゾートっぽい雰囲気のもの主流。今や都心であっても非日常的な風景を演出しなければいけない。中之島には窓の

## キーワードは「非日常感」。

新しくできた[中之島リバーワンダーランド]のパンフレットなどを見ると、川に面したテラスで、バックに中央公会堂を臨むロケーションが強調されている。こうした「非日常感」をどれだけ演出できるかが、人気を左右するポイント。大きな窓から川を眺められるチャペルを持つ[中之島バンクス]も、非日常感をうまく取り入れていると言えるだろう。都心でありながら、こうした要素まで求められるのは考えてみればシビアだが、それだけ競争が高まっていることの裏返しでもある。

### ウェディングの機能が加わり、さらにグレードアップ。

#### 中之島バンクス

2012年に独立型チャペル[トゥレジュール]、バンケット[シャトーグレージュ]、レストラン[サン＝ルイ アミューズ]がオープンし、ウェディング会場としての機能が加わった。こちらもすべて間宮吉彦氏のデザインで、レストランの上がバンケット、バンケットとチャペルが隣接しているなど、移動を最小限に抑えている。その他、水上デッキを使ったパーティーなど、さまざまな演出に応えられるスペースがコンパクトに詰まっている。

<http://www.nakanoshima-banks.com/>



写真 / TAKUHO ABE



写真 / 下村康典

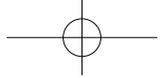


外に、水というものがあつていいから、これは最強ですよ。行くのが楽しいという強み。

——最近のニーズにあつていっているという事は、満足度も高いということになるのでしょうか？

『Lei wedding』では、3年前から「花嫁準備隊」といって、婚約してから挙式が終わるまでモニターになってもらう企画を行っています。何を情報源にして、どう決めたのか追跡調査をしているのですが、中之島はトータルでの満足度が高いことがわかります。結婚式会場には、式の当日だけでなく、挙式をするまでに、打ち合わせのために最低でも3〜4回は会場を訪れますよね。ロケーションに優れている中之島は、その行き帰りがデートにもなる。会場に行くのが楽しい、というアドバンテージがあるわけです。

ゲストからの評価も高く、「大阪にこんなところがあるんだ！」という声がかかります。それは僕も同感です。17年前に東京から大阪へ来た時、真っ先にアクアライナーに乗りましたから。「なんでこの川をもっとアピールしないんだらう。もったいないな」と思っていました(笑)



業界研究から読み解く  
「中之島婚」②

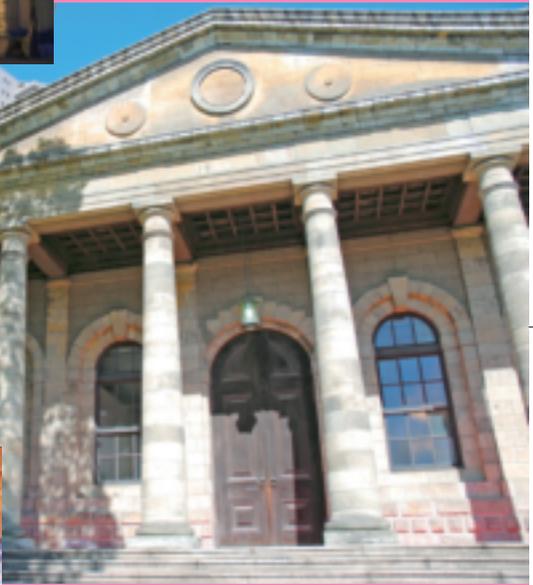
# ウェディング 新世代の登場。

—— 都心でウェディングと言えば、「白亜の豪邸」みたいな建物も目立つようになってきました。中之島の周辺でも見かけますが、ああいう場所も、確かに「非日常感」はたっぷりですね。

結婚式の会場と言えば、つい20年ほど前まではホテルか専門式場くらいでした。その中でも、どちらかと言えば都心部にあるホテルが高価で、専門式場は少し離れた場所にあつて安い、というような棲み分けができていました。

## 結婚式が「2人」のものに。

それが変わり始めたのが2000年代です。2000年頃の結婚組数は全国で約80万組。その親たちはいわゆる団塊の世代に当たり、昔ながらの儀式を嫌い、親族同士の関係性も薄くなりつつあります。



## 川、建築… ここにしかない風景。

例えば船の上で挙式をし、その後で披露宴を行うプラン。大阪市中央公会堂や旧桜宮公会堂などの名建築を会場にするプラン。川、建築、歴史といった中之島らしいウェディングプランも充実している。場所が持つ特性をうまく演出に結びつけることで、さまざまな好みの層を取り込むことができる。これからどんどん多様化していくであろうウェディングのあり方を考えると、これは大きなアドバンテージになる。

### 明治時代の名建築が 新たな会場に仲間入り。

#### 旧桜宮公会堂

旧桜宮公会堂は、もともと昭和10年(1935)、明治天皇記念館として建設された。正面玄関は重要文化財で、明治4年(1871)竣工の旧造幣寮のものが移築されている。長らく閉鎖されていたが、昨年、リノベーション工事を終え、結婚式会場およびレストランとして開業。名建築が醸し出す風合いを存分に活かした婚礼空間に生まれ変わった。建物の外は日本庭園や桜の木など緑であふれ、隣には同じく近代建築の泉布観があることから、都心とは思えないリゾート感も味わえる。  
<http://produce.novarese.jp/smk/>

### 渡辺健太のIDウェディング① 中之島が選ばれる意外な理由とは？

#### 大阪府の結婚平均年齢

(厚生労働省「都道府県別にみた夫・妻の平均初婚年齢の年次推移」より抜粋)

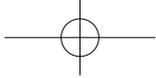
	1975年	1985年	1995年	2005年	2009年
夫	27.2	28.1	28.2	29.9	30.4
妻	24.9	25.4	26.2	28.2	28.8

(歳)

データを見ると、中之島で結婚式を挙げるのは、大阪在住もしくは大阪の会社に勤めている人がほとんどです。大阪市内に住んでいる人でも、みんな知っているし、アクセスが良いと思うんですね。また、都道府県別の結婚平均年齢は上昇傾向にあります。同時に2度目の結婚という人も増えている。年齢が上がるにつれて、なぜか別の人がやった場所ではやらない傾向があります。そうすると、新しい施設が多い中之島は必然的に選ばれやすくなります。

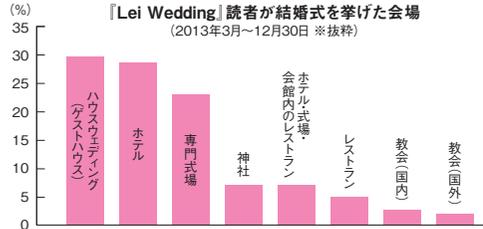
た。それまでのように親が干渉することも減り、結婚式は「家と家」のものから、2人の個人のものになっていきました。

こうした社会の変化の中、特に花嫁になる若い女性の夢や憧れに特化して応える形で、ハウスウェディングというスタイルが生まれてきました。ハウスウェディングとは、ゲストハウス(迎賓館/邸



## 渡辺健太のIDウェディング② どんどころで結婚式を挙げているのか？

顕著な傾向はホテルウェディングの減少で、ハウスウェディングが上回っています。3位の専門式場も施設の造りはゲストハウスとほぼ同じ場合が多く、これを足すとさらに増えます。レストランは少ないように見えて、ゲストハウスに分類される店も多く、境目は曖昧。ただ、10年前はホテルが約半数でしたから、群雄割拠と言えるでしょう。



「宅」に参列者を招いて結婚式や披露宴を行うというコンセプトで、その多くが西欧の白亜の豪邸風の建物です。  
大阪では2002年に、南港に「アートグレイス・ウェディングコースト」という会場ができました。こうした変化を僕は「ウェディング新世代の参入」と呼んでいます。



## 船に乗って挙げる結婚式はいかが？ リバースイート大阪

2009年、[川の駅はちけんや]の2階にオープン。ふだんはフレンチレストランとして営業しているが、テラスやパンケットを使ったさまざまなスタイルのウェディングに対応している。中でも面白いのは、目の前にある船着場から出発する水上の結婚式。大川に浮かぶクルーズ船に乗ってのセレモニーは、川のほとりというロケーションをこれ以上ないほど活かしたものだ。まさしく水の都である大阪を象徴するかのような演出だ。  
<http://riversuite.jp/>

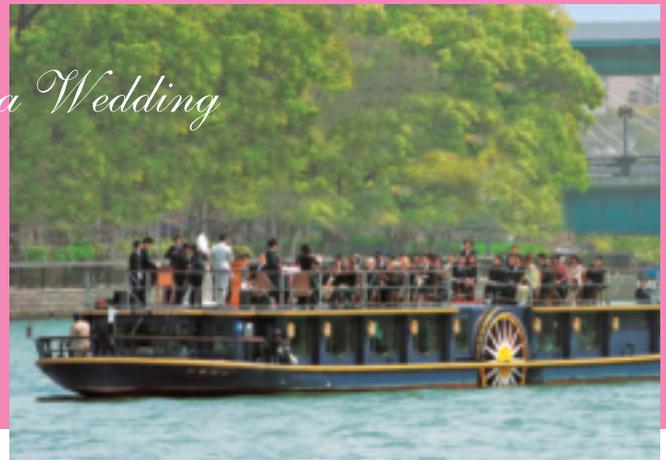


## 大阪のシンボルは結婚式の人気スポット。 大阪市中央公会堂

言わずと知れた中之島のランドマーク。実はウェディングの会場としては、かなり前から有名だった。保存再生のための改修工事が完了した2002年に初めて披露宴が行われると、これが注目を浴びるきっかけに。各社がこぞって公会堂を会場にするプランを売り出すようになった。今もほぼ毎週、結婚式や披露宴の会場になっている。興味のある方はインターネットなどで、プランを発売しているところを調べてみよう。

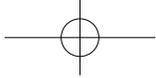


## Nakanoshima Wedding



街に増え続けるゲストハウス。四つ橋筋沿いの「アーセンティア迎賓館」(左)。中之島でも「ランソールガーデン大阪」(6月オープン予定)が現在建設中だ。

「オリジナル」を求めて。  
また、ゲストハウスが登場する少し前、2000年前後から流行し始めたのがレストランウェディングでした。料理も美味しく、庭のある店なら海外映画のようなガーデンウェディングも楽しめるという評判でした。  
ホテルや専門式場とは違う「オリジナル」のウェディングが求められるようになったため、それが高じてゲストハウスの進出に拍車をかけたとも言えるでしょう。  
非日常感が求められている現在の流行を生んでいるのも、こうしたオリジナル信仰と無関係ではないと思います。



業界研究から読み解く  
「中之島婚」⑧

# 「一人勝ち？」 中之島のこれから。

——中之島がウェディングにびつたりだということがよくわかりました。ただ、これだけ増えると競争も厳しくなるのでは？

けっこうパターンとしては出尽くしている感じはありますよね。しかも、これから少子化でカップルの数は減っていくわけですから、それでも他のエリアに比べれば、中之島はまだお客さんを取れているエリアだと思います。それはハード面でも価格面でもいろいろなパターンがあるからです。

**多様化に対応できるかがカギ。**

最近では披露宴と2次会の区別がなくなっていたり、定番スタイルだけでは受け入れられません。また、以前はホテルがいいなと思うと、ホテル同士で比較していたんですが、今どきはホテルとレスト



## ウェディングは街の店をも変えた。

2000年前後から流行し、一気に広まったレストランでのウェディング。今や人気の店は、スクリーンやプロジェクターがあるのは当たり前。バンケットルームや独立型チャペルを備えていたり、契約しているプランナーがいたり、あらかじめ演出に工夫が凝らせるように造られている。施設やサービスの充実ぶりは、ホテルやゲストハウスに引けをとらないところもあるほど。ウェディングは、レストランの仕組みをも変えるようになりつつあるのだ。

*Nakanoshima Wedding*



川や船を取り入れる方法も実はいろいろある。予算やゲストの人数に合わせて自分流にアレンジしてみても？

ランで比較するとか、カテゴリーにとらわれない。ホテルは値段が高いと思われてきましたが、今は一概にそうも言えません。それに、これは僕たちメディアの責任もあるのですが、今のウェディングイメージが嫌がられているところもあるんです。花嫁さんが常に華々しくて、色はピンクで、という定番化されたイメージは、年齢が高くなるにつれて敬遠されるようになります。旧態依然としたウェディング業界そのものが、多様な層の好みを拾えなくなってきているんです。

その中で、同じようなものがあるのではなく、老舗のホテルも最新のレストランもゲストハウスもあるのが中之島の面白さだと思うんです。中之島周辺を見れば、今のウェディング業界の最前線は

ほぼわかる。今のところ、大阪では中之島のようなエリアは他にはないですね。

——中之島とは関係ないのですが、せっかくなのでいい結婚式を挙げるためのコツを教えてください。

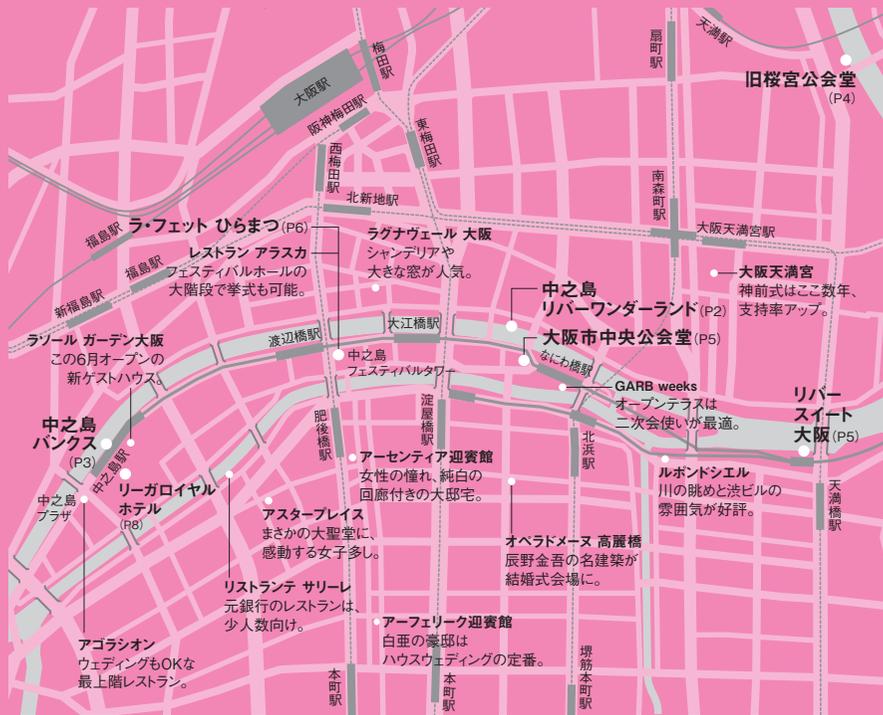
結婚式で大切なのは、人生のパートナーであることを互いに誓い合うこと。今までお世話になった方に感謝し、おもてなしをすること。そして、世代のバトンタッチの現場を分かち合うこと。準備期間でお互いを理解し合い、ゲストと一緒に感動する時間をつくれれば結婚式は成功します。だから、それをサポートしてくれるのにふさわしい人がいるかどうかで会場を選ぶのがコツです。

どんな素敵な結婚式を挙げられるのか、その日のストーリーを語れるかどうか。ビジネスではなくいかにおもてなしをアシストしてくれるかが決め手です。お金の面でも、十分に必要なもの値段がいくらなのか、わかりやすく話してくれる人を選びたいですね。

自分たちのペースでアシストしてくれて、決断を急がない。「相性が良いな」と思う人がいるところがベストです。そういう人にはいくつか回れば出会えるもの。個人的には会場の違い、人の違いを



## 中之島はウェディングの街になりつつある、か？

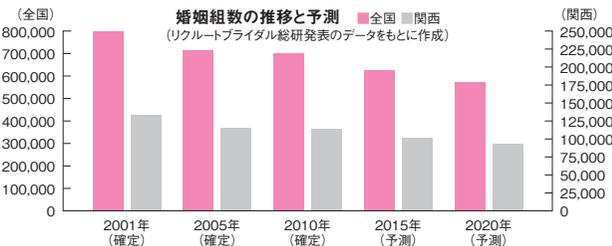


### 地上200mの レストランウェディング ラ・フェット ひらまつ

中之島フェティスパルタワ最上階のフランス料理店[ラ・フェット ひらまつ]は、料理はもちろん格式にもこだわったウェディングができるレストランとしても大人気だ。少人数のシンプルなお披露目会から、200名着席の盛大なパーティーまで、華やぎのある複数の空間が用意され、北西角のホワイエでは本格的なチャペル挙式も可能。窓の外に広がる地上200mの眺望が、まさに空に浮かんでいるような雰囲気を演出する。レストランウェディングの進化を象徴するような存在だ。  
<http://www.hiramatsuwedding.jp/lafete/>

### 渡辺健太のIDウェディング③ 結婚式を挙げる人は減りつつある。

現在、初婚の婚姻組数の4割が結婚式を挙げていないと言われています。きちんとしたデータはないのですが、東京や大阪などの都心部ほど高いのではと推測されています。その4割のうちの半数は経済的な問題ですが、残りの半分は「したくない」んです。結婚式を挙げる意義を感じていない。アンケート結果を見ると、新生活など合理的なものにちやんとお金をかけたいという意見が多い。何百万円もかけて思い出ぐらいしか残らない結婚式は、消費行動としては非合理的に映るようです。



考えて、3件ぐらいは比べてみるのがいいでしょう。会場さえ決まれば、3〜4ヶ月あれば、準備期間には十分だと思いますよ。



## ホテルウェディングの 流行は戦後から。

リーガロイヤルホテルでウェディングを行うようになったのは、前身の新大阪ホテル開業直後の昭和10年代から。今でこそホテルウェディングは当たり前になったが、昔はずいぶん様子が違っていたようだ。

当時の写真を見ると、高砂ではなく長いメインテーブルが置かれ、ゲストが座るのも丸テーブルではなく正方形。新郎新婦を含め男性がタキシードやスーツであるのに対し、女性は和服姿だ。ホテルでのウェディングが一般的になるのは、戦後のことと言われている。中之島でも事情は同じで、昭和30年代に現在のようなスタイルが確立されていたようだ。

披露宴で行われるキャンドルサービスは、実はこの頃にロイヤルホテルで考えられたと言われている。確かな記録は残されていないそうだが、自由な発想でアイデアを取り入れていったということだろう。



開業時のパンフレットより。「荘厳なる御神前結婚式  
の設備は固より美容、着付、写真撮影、余興、招待状の印刷等一切の設備を館内にご用意して居ります」とあり、神前式が可能な設備がすでにあったことがわかる。



# Royal



昭和10年代、新大阪ホテルでの披露宴の様子。

# Wedding

## 華麗なる「ロイヤルウェディング」列伝。

中之島とウェディングと言えば、リーガロイヤルホテル抜きには語れない。「ホテルウェディング」という言葉すらない時代からブライダルに関わる中、そのスタイルやサービスは、時代によって変化し続けてきた。

取材・文／大迫 力(本誌)



## 一般化と共に豪華な演出に。

ホテルでの結婚式が一般化していくにつれ、華やかさを増していったのが演出面だ。昭和40年に入社した元総支配人の安田勇次さん（現・セールス統括部支配人）は、その様子を目の当たりにしていた。

「文楽の人形遣いで人間国宝の吉田



竣工時、驚きの声があがったザ・クリスタルチャペルは今も人気。

箕助さんに来てもらったり、5mおきにバイオリニストを立たせて演奏してもらい、披露宴から2次会の会場まで案内したこともありました。デザートの時にシャンパンをもう一度出す、Wシャンパンという演出もありましたね。そうやって流行を



つくり出したわけですね」

安田さんと同じく昭和40年に入社したベラン・田中清寛さん（現・ブライダル担当

支配人）は、親子2代3代と続けて結婚式を担当することも多いそうだ。「両親が『任せておけば安心だから』と言ってくださるんです。緊張しますが、ありがたいですね」

そんな積み重ねの中で、だんだんと「大阪でウエディングと言えばロイヤル」という声が広まっていく。今まで一番多かった日には、なんと26件もの婚礼があったという。

## 時代に合わせたサービスを。

サービスやサポート体制においても、平成8年（1996）からは、「ブライダルエスコート」というサービスを開始。一般的な介添人ではなく、母親のような視点で花嫁のメンタルサポートも行うという新しいものだった。

その翌年にはザ・クリスタルチャペルが完成。ヨーロッパのカテドラルスタイルを再現し、ホテル内のチャペルとしては関西最大級で、その壮麗さに訪れた人たちは驚いた。

また、2000年には「シビル式（市民結婚式）」をスタート。「シビルウエディングミニスター」の資格を持つホ

テルスタッフが司式を行うもので、阪神のホテルでは初めて。ウエディングのあり方が変化し始めた時期でもあり、「堅苦しいのはイヤ。でもきちんとした式はしたい」という声に応えようとした。

レストランウエディングが流行し始めると、フランス料理の「シャンポール」でも即座にプランを打ち出す。さらに、昨年、歴代最年少の総料理長が就任すると婚礼用メニューを一新。新郎新婦が選ぶことのできるプリフィックスコースを始めている。

「いくら歴史や伝統があるといつて



今回お話をうかがった田中さんは、シビルウエディングミニスターの資格も持っている。

も、今が悪ければただの古いホテルでしかない。それまで培ったものを大切にしながら、時代に合ったサービスを取り入れる努力を忘れないようにしています」（安田さん）

今や当たり前となったものも多いが、その背景には、新しいものを取り入れた人の存在があり、受け入れられるための時間が必要だ。そう考えると、中之島はずいぶん前からウエディングとつながりの深い街だったと言えるかもしれない。

今年には宝塚歌劇の100周年なん  
だそうだ。

1914年4月1日に幕をあけた第  
1回公演は、宝塚新温泉で開催された  
大阪毎日新聞社主催「婚禮博覧会」の  
余興として、パラダイス劇場で上演さ  
れた。

と、HPにある。なぜ月刊島民でそ  
んな話を...という、中之島界隈のあ  
る老舗企業から「100周年記念で  
宝塚歌劇の女優さんがうちのイメージ  
キャラクターになってくれます」と、  
お知らせをいただいたからである。

大阪天満宮に縁深く、ちよつと「和」  
のイメージもあるこの企業に対し、阪  
急的郊外都市の源流である宝塚。阪神  
間モダンイズムの権化のような歌劇。そ  
の結びつきの意外さを思ったのだが、  
いや、よく考えれば宝塚と中之島、ふ  
たつの地は案外昔から人や文化の行き



来があるのかもしれない。

わかりやすい例は手塚治虫。言わず  
と知れた「マンガの神様」は宝塚で育  
ち、大の歌劇ファンだった。

彼の曾祖父は北浜の適塾で学び、本  
人は中之島時代の大阪大学医学専門部  
で学んだ。小学生の手塚少年を天文の  
世界へ誘ったプラネタリウムは市立科  
学館に今もあり、彼を感化した同級生  
の科学少年は淀屋橋の時計店の社長に  
...などの話は、本誌でも紹介してきた。  
さらに言えば、子供の頃から朝日会館  
(後のフェスティバルホール)にアニ  
メ映画を観に通い、デビュー作は堂島

時代の毎日新聞に描  
いた『マアチャンの日  
記帳』...と、手塚の個人  
史には中之島界隈が頻繁に  
登場するのである。

これは何かある、調べねばな  
るまいと思っていた時、絶好の本が  
最近出たことを思い出した。

京都文教大学講師の長崎励朗さんの  
『つながり』の戦後文化誌 労音、そ  
して宝塚、万博。手に取ってみたら  
抜群に面白い。中之島と宝塚の共通性  
を、それぞれの地で生まれた文化装置  
の中に読み解く刺激的な論考である。



『「つながり」の戦後文化誌  
労音、そして宝塚、万博』  
(河出書房新社 / 2,310円)  
労音の盛衰史を軸に、文化が  
生み出す「つながり」の意味を考  
える気鋭の著者のデビュー作。  
ベギー葉山の貴重な証言もあり。

# 中之島と宝塚は (意外と)つながっていた。

というわけで、4月のナカノシマ大学にも登場してくれる長崎さんにお話をうかがった。

## 話

は、大阪労音の歴史から説き起こされる。正式名称は「大阪勤労者音楽協議会」。昭和24年(1949)に発足した音楽鑑賞団体である。「良い音楽を安く聴く」を理念とし、クラシック・コンサートの企画開催から始まった活動は、職場の労働組合を足場に都市の勤労青年たちに広がり、最盛期には大阪で15万人、全国各地にも同様の組織ができ、最大60万人の会員数を誇った。

その始まりにいたのが、元宝塚歌劇団指揮者で作曲家の須藤五郎と朝日会館の名物館長、十河巖。宝塚と中之島をそれぞれ背負った2人の出会いによって、戦後最大の文化運動たる労音は動き出した、という。

本書は書く。

須藤五郎によって発案された「ワリカン」のシステムを核とし、黎明期を十河巖という「コネクション」によつ



若き日の須藤五郎。「宝塚・労音・わが道」(須藤五郎・夏の書房)より。

て支えられた労音は、まさに「つながり」の団体として誕生したのである。

その意味を長崎さんは、こんなふう

に解説する。  
「労音は、今で言うフェイスペインクやミクシイのコミュニティみたいなもの。田舎から都市へ出てきた若者たちが、つながりを求めて入会し、会費を払って活動を支え、参加していた側面があったんです」

## 当

初は「クラシック」教養に憧れを抱く層を取り込んで急成長した労音だが、やがてタンゴやジャズといった当時最先端の西洋ポピュラー音楽へも手を広げ、創作ミュージカルを次々上演するようになる。しかし、そこでも「俗悪な流行歌」とは違う「高尚」な文化への憧れは残っていた。

労音は大衆性を持ち、かつ聴衆に一定の上昇感をも与えることのできるポジションを発見したのである。

この感覚を長崎さんは「キツチュ」というキーワードで読み解く。「本物の芸術ではないが、都市の中間層を形成した「平均的」な人びとにとっては、より身近で「本物くさい」作品や表現。「リアルよりも、リアリティが求められたんですね。その中身は、西洋志向・モダン志向・未来主義。中之島と

宝塚の共通点は、そのあたりにあると思います」

なるほど、宝塚歌劇や手塚治虫に代表される阪神間文化と、労音や朝日会館、さらには数々の近代建築が形成する中之島文化は、その距離にもかわらず、こうした志向性でつながっている、ということか。本のタイトルにある万博は、さらに過激に「未来」を志向したイベントだった。

こうした感覚は、長崎さんが生まれ育ち、現在も暮らすミナミにはないものだという。

「ミナミの文化は、逆にブレ・モダン、前近代的なものを尊ぶ感覚が強いですよね」

ちなみに、長崎さんは昭和58年(1983)生まれの30歳。京都大学大学院時代の博士論文をもとにこの本を書き上げた。なんでその若さで、今ももうほとんど忘れ去られた労音に焦点を? その答えがとても興味深かった。「もともとはインターネット社会論をやったんです。でも、フェイスペインク革命だとか、やたらネットのつながりを礼賛する感じが胡散臭くて、疑いを持っていた。だったら、あえてネットのなかった時代のつながりを調べてみよう、と。その過程で出会ったのが大阪労音だったというわけです」  
長崎さんとリアルでつながりたい方  
4月19日のナカノシマ大学は必見だ。

## 長崎励朗さんはじめ、豪華ゲストが登場! ナカノシマ大学4月講座。

今回ご紹介した長崎さんもお登場のナカノシマ大学4月講座「クラブ・リバーサイドをもう一度」。元はカフェサロンだった中之島のビルを舞台に、BMC(ビルマニアカフェ)のみなさんによるトークや音楽ライブを開催。長崎さんのお話は、サロンがあった昭和30年代の大阪で流行っていた音楽について。曲を聴きながら、かつての大阪の音楽シーンをふり返っていただく。1日限定の春の文化祭をお楽しみに!

◎お申し込み方法はP14のナカノシマ大学ページを参照してください。

# 笑う落語の大阪

第二回 高島幸次

たかしまこうじ  
大阪大学招聘教授、追手門学院客員教授、  
大阪天満宮文化研究所研究員などを務める。

## 繁昌亭は、生まれるべくして 天満に生まれた。

大阪天満宮の大工門（西裏門）を出たあたりは、かつて「天満天神裏」と呼ばれた遊興地だった。明治・大正期に「天満八軒」と総称される演芸小屋で賑わったのだが、その風土は、江戸時代以来の天満宮境内における大道芸によって形成された。

明治20年代になっても、境内ではけつたいな大道芸人たちが話芸を競っていた。

居合抜きは、夏目漱石の『彼岸過迄』に登場する浅草の長井兵助の名を語る偽者だった。偽者だけあって、三宝の上に乗って鞘を後ろに落とすという怪しい技だったらしい。それでも、1日に数回しか見せない抜刀まで群衆の足を留めてちやっかり歯磨き粉を売るのだから、話術だけは本物だった。

白ヒゲの砂がき親父は、色砂を地面に落として絵を描くのだが、客か



「放生亀」は大阪では竹筒に乗せて売られた。亀が手足をバタつかせ、哀れをよぶことで客の気を引いた。(喜多川守貞「守貞漫稿」より)



一番の集客力を誇っていた。

放生亀売りは、原盛太郎といった。客は亀を買い「亀の池(星合池)」に放して功德を施すのだが、放たれた亀は夜になると盛太郎宅まで戻るように習性づけられていたという。もしそれが本当なら、元手いらずの商売だ。盛太郎は、のちにその儲けで浮かれ節の小屋を買い取り、日本一の浪花節席「国光席」に育てあげた。

天満宮近くの地下町に住んだ宮崎八十八は、境内での八卦見のかたわら、易学や滑稽本の執筆・出版も行っていった。のち、その稼ぎを注ぎ込んで女義太夫の「南歌久席」を買収し、落語の「宮崎亭」に改装している。このように天満天神裏には話芸から演芸に連なる風土が根ざっていた。

ら画題を注文させながら、結局は自分の得意の絵を描いて見物料をとるだけの話芸があった。  
夫婦者の船売りは、夫が「シチャラカポコポコ、ナンダポコ」と歌い、妻が「チャンチャラチャン」と三味を弾く。その見事な呼吸は、境内で

2006年、天満天神繁昌亭が開席したが、そこはかつての宮崎亭の地であり、向かいの駐車場の場所に国光席があった。この地の風土が、繁昌亭を呼び寄せたに違いない。

## 5月から企画が一新！ 「天神寄席」に行こう。

天満天神繁昌亭では、土地を提供している大阪天満宮に敬意を表し、毎月25日の夜席を「天神寄席」と銘打ち、さまざまな企画を開催している。5月から新シリーズが始まるのに合わせて、ナカノシマ大学でもチケットの取り扱いをスタート。落語だけでなく、高島幸次先生やゲストスピーカーによるトークも加わる新シリーズをお楽しみに！

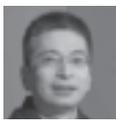
## 5月のお題は「経済」 5月25日(日)

## 「経済は落語のり奇なり」

ゲスト／桂あおば「道具屋」  
桂文昇「はてなの茶碗」  
笑福亭仁麿「壺算」  
桂米團治「千両みかん」  
ゲスト／大竹文雄「大阪大学理事・副学長」



「千両みかん」で落語のトリをとるのは桂米團治師匠。



ゲストはNHK「オイコノミア」でおなじみ大竹文雄さん。

## ナカノシマ大学で 前売り券を買うとお得！

毎月25日の「天神寄席」の前売チケットを、ナカノシマ大学で買うと、1800円で入場できます(通常2000円)。なんと1割引の太っ腹！いつものナカノシマ大学と同じく、ウェブ、ハガキ、FAXでお申し込みを受付中。お得なチケットで天神寄席へ行こう！

申し込み方法はP14を参照してください。  
問い合わせ先 ☎0647991340

# ナカノシマ大学neo 始まる!

ネオはいつもと  
ちよつと違う

ただいま快調に  
撮影中です



写真提供 / 映画情報ウェブマガジン「キネプレ」

## 「今どき映画人養成カフェ」 scene#02

業界最新動向から考える、  
16mmフィルム映画の無謀な挑戦。  
講師 / 映画『月夜釜合戦』製作委員会

自分で映画を撮り、上映することは  
どれくらい難しいことなのだろう?

ふだんの講義とは違うカジュアルな雰囲気、まだ来たことのない人にも来てもらおうと始まった新シリーズのナカノシマ大学neo。2月に行われたその第1回目は、そんな思いが届いたようで、ほぼ全員が初参加。佐藤零郎監督率いる『月夜釜合戦』製作委員会メンバーの熱い思いが伝わる、濃密な時間となった。

第2回目は、少し寄り道をして、映画業界の最新動向をご紹介します。どんな映画が流行っているのか、制作費やスタッフはどのくらい必要なか、上映スケジュールはどのように決まり、誰がどれくらいお金をもらえるのか...などなど。これらを意識することで、16mmフィルムで撮影する自主制作映画である『月夜釜合戦』の「無謀さ」がより理解できるだろう。

質問や挙手も大歓迎、いつもとはひと味違う雰囲気を味わいに、ナカノシマ大学未体験の諸君もぜひ!



16mmカメラの  
実演もあるぞ!



## 「今どき映画人養成カフェ」

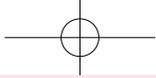
日時 / 2014年5月22日(木)  
7:00PM~8:30PM  
会場 / 大阪府立江之子島文化芸術創造センター/enoco  
受講料 / 1,000円  
定員 / 50名  
主催 / 映画『月夜釜合戦』製作委員会  
協力 / ナカノシマ大学 シネ・ヌーヴォ

◎参加希望の方はメールでお申し込みを!  
[nakanoshima.univ.neo@gmail.com](mailto:nakanoshima.univ.neo@gmail.com)  
お名前・参加人数・連絡先をメールでお送りください。予約無しでも空席があれば当日参加可能です。なお、受講票の発送は致しません。  
問い合わせ ☎06-6582-1416(シネ・ヌーヴォ担当:山崎)

## 映画『月夜釜合戦』とは?

泥棒を生業とする主人公・今田は、石川五右衛門の供養として釜ヶ崎中の釜を盗むことを決意する。だがそのうちに釜が高値で売れるという噂が広まり、釜の奪い合いが社会現象に。満月の晩に釜ヶ崎で一番大きな釜を盗み出すのは誰か? 古典落語「釜泥(釜泥棒)」から発想を得た人情喜劇。現在、絶賛撮影中! <http://kamadoro.com/>





料理人の哲学が  
わかる



ナカノシマ大学  
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の  
懐徳堂  
プロジェクト

◎今月の授業

# 【道具と人】

2014年5月講座

「続・ちゃんとした店ってなんや?会議  
『旨い、道具の話』」

講師／江弘毅(本誌編集発行人・元『Meets Regional』編集長)

吉村 司(編集者・元『Hanako WEST』編集長)

石原 卓(クエストルーム代表・元『関西びあ』編集長)



道具から見た、店・人・街について。  
あの3人が再びわいわいガヤガヤ語り合う。

本誌編集発行人であり、「島民よ、この店のこれを食べ」を連載中の江弘毅が新刊『有次と庖丁』(新潮社)を上梓した。京都・錦市場の庖丁づくりの老舗である[有次]は、400年以上の歴史を誇る。店への取材はもちろん、京都や大阪の料理人や塚の製作現場も訪ね、そのものづくりの真髄を探っている。

その中にこんな一節がある。「庖丁の話は深く入り組んでいる。…『鯛は明石に限る、いや和歌山の加太だ』などといったグルメ軸(=消費軸)の話よりも断然奥行きがある。…それぞれの店や料理人の歴史や個性、さらには背景にある

哲学を物語ることが多いのだ。道具について知ることは、すなわち店や街を深く理解することでもあるのだ。

今回は、同じく京阪神の店をメディアを通して伝えてきた「盟友。たちが再び集合。江の新作をきっかけに、庖丁をはじめとする料理人たちの扱う道具について語ることから、店や街で過ごす楽しみ、さらにはそれを書く難しさがどこにあるのかを考えていく。

料理については、書く方も知る方も、●●産や××出身などのデータにとらわれがちだ。それだけではないことを、道具の話は教えてくれる。

前回は2013年2月に開催。会場は大入り満員だった。今回も同じく大阪駅前第1ビルのレトロ喫茶[キングオブキングス]にて開催。



江弘毅  
『有次と庖丁』  
(新潮社/1,600円+税)

桶狭間の合戦と同じ1650年創業の老舗[有次]。錦市場の店は、今や世界中の料理人が集う「名所」となっている。その歴史について、1年半をかけてみっちり取材。美しい写真とイラストも満載。

募集要項	<p>「続・ちゃんとした店ってなんや?会議『旨い、道具の話』」</p> <p>日時／2014年5月27日(火) 7:00PM~8:30PM頃(開場6:30PM~)</p> <p>会場／キングオブキングス</p> <p>受講料／2,000円(1ドリンク付き)</p> <p>定員／60名</p> <p>主催／ナカノシマ大学事務局</p> <p>協力／新潮社</p>	<p>お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。ハガキ、ファックスでお申し込みの方は、講座名を必ずお書き添え下さい。</p> <p>〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階 「ナカノシマ大学5月講座」受付係 FAX.06-4799-1341</p> <p>※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。 ※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。</p>
------	---	--

ナカノシマ大学の最新情報は

<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは  
こちら!→



お問い合わせ ☎ 06-4799-1340  
(ナカノシマ大学事務局)

## 知られざる「中之島の戦い」 (難波戦記より)

慶長19年(1614)、大坂冬の陣が起った。ちょうど今から400年前である。講談では翌年の夏合戦と合わせて「難波戦記」と呼ぶ。

徳川家康が豊臣家に難辭を付け、大軍で大坂城を包囲したが、城内には軍師・真田幸村がいたので手出しができませんでした。

ところが幸村にも一つ悩みがあった。それは城内に気位が高いだけの武將が何人もいたことである。

中でも織田有楽斎は「ワシは信長様の実弟、すれば淀殿の叔父じゃ」と威張る。が、戦はからつきし。「有楽斎殿は城に近い中之島砦(天満橋北詰め辺り)をお護り下され」と、さすがの幸村も気を遣った。

すると11月27日、この日は夕方から冬の嵐となった。城内の幸村は「このような晩は徳川方が動く。狙うとすれば有楽斎殿であろう。中之島砦の西北浜4丁目あたり)には、敵の池田忠継が陣を構えている」。そこで幸村は有

楽斎に使いを出した。

「中之島は大した砦ではないから城内へ戻れだど? バカにするな。意味の無い砦をどうしてワシに護らせた。何があってもここから動かん」。有楽斎はかえって意固地になってしまった。

夜半になり、やはり池田勢は動いた。ところが有楽斎も使いを帰した直後「ああは言ったが敵が来たらヤバイ。そうじゃ、博労淵(西区松島辺り)における豪傑の薄田隼人に嘘をついて呼ぼう」。

可哀相なのが薄田であった。「有楽斎殿が急用とのこと。後は頼むぞ」とわずかの家来を従えて中之島へ。「よく来てくれた。サア馳走の用意がござる」。薄田は用を聞くも「後で、後で」と酒を注ぐ有楽斎。

ところへ法螺貝の音。夜風をついて池田勢が中之島を西から東へ。天神橋を北へ渡り中之島砦へ迫ってきた。「やはり来たつ。薄田殿、後は任せたまよ」と叫ぶなり、有楽斎は天満橋を南へ渡

り(一説には泳いで)、城内へ入ってしまったのである。

「有楽斎殿つ。さては池田が来たら逃げるために我を呼んだのかつ」と、薄田は憤り、鬼神の如く敵を蹴散らし、中之島を抜け、博労淵へ戻った時には、そこも敵軍に奪われており、薄田も職務怠慢と責められたのである。

以上が「中之島の戦い」の概略であるが、史実は不明で大阪の講談にのみ存在する。ちなみに史実で言えば、有楽斎は冬の陣が和睦になった折、大坂城を抜け出して家康に付き、江戸で屋敷を宛がわれ茶の湯三昧をした。その場所が現在の「有楽町」である。

そんな有楽斎が許せなかったからこそ大阪で「中之島の戦い」が作られたのかもしれない。

きよくどう・なんかい  
1964年、兵庫県加古川市生まれ。大阪大学卒業前(1989年)に三代目旭堂南海に弟子入り。1998年大阪市より「咲くやこの花賞」授賞。得意ネタに「天間記」「難波戦記」「浪花侠客伝」「天満宮屋敷記」など。

2014年4月1日発行

## 京阪電車中之島線で アートのお祭り開幕!



「駅からはじまるアートイベント キテ・ミテ 中之島2014」では、京阪電車中之島線(渡辺橋駅・大江橋駅・なにわ橋駅)を会場に、一般から募った絵画や川柳のほか、関西のアーティストの作品をコラボ展示する。4月1日(火)より、展示作品を募集中なので、お気に入りの中之島のシーンを題材に、ぜひ応募を。今回のテーマは「中之島」、「バラ」

### 「キテ・ミテ 中之島2014」

応募期間/4月1日(火)~5月6日(火・休)

※当日消印有効

募集テーマ/3部門共通「中之島・バラ・橋」

応募サイズ/

【絵画部門】ハガキサイズ(100mm×148mm)、F4サイズ(334mm×242mm)、F6サイズ(318mm×409mm)程度

【ちびっこお絵かき部門】(4歳~小学生対象)四つ切り画用紙サイズ(380mm×540mm)程度

【川柳部門】ハガキに記載

応募方法/作品の裏面(【川柳部門】の場合はハガキ)に、①郵便番号②住所③氏名(ふりがな・ペンネーム可)④電話番号⑤年齢⑥学生の方は学校名・学年を明記し、下記まで郵送。〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル 私書箱35号 京阪電気鉄道株式会社 経営統括室 事業推進担当「キテ・ミテ 中之島2014」係

### ●バラのセミナー

日時/5月19日(月)1:00PM~2:00PM

集合/京阪電車なにわ橋駅改札口外付近

定員/30名

(当選者には当選の通知をもって連絡)

参加費/2,000円(税込) ※要事前申込

応募方法/往復ハガキ、またはメールに①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)④電話番号⑤年齢⑥参加人数を明記し、5月9日(金)当日消印有効)までに上記宛先または下記メールまで。  
kitemite-nakanoshima@m.keihan.co.jp

詳細・問い合わせ/京阪電車 お客さまセンター

☎06-6945-4560 <http://www.keihan.co.jp>

満載した。 (江口由夏・本誌)

賞し切り電車の網棚などの内装を利用した、車内アートワークショップが初登場。京阪電車にしかできないイベントが満載だ。

「橋」。オフィス街に近代建築がある風景や、橋のロケーションが絵になることは、ご存じの通りだ。春を迎えた中之島をスケッチしに出かけよう。期間中は、テーマに絡めたワークショップが用意されている。たとえば、バラに注目したものでは、京阪園芸の小山内健さんのガイドで中之島公園を散策。バラで有名な中之島公園の見どころや育て方について、バラのソムリエ自ら熱弁をふるう貴重な機会。



## 大フィルが フェスティバル ホールに 帰ってくる!



イオン・マリン(第478回) ©飯島隆

昨年4月に生まれ変わったフェスティバルホールへ、大阪フィルハーモニー交響楽団が「帰ってくる」との朗報が届いた。かつて、大フィルは旧フェスティバルホールで定期演奏会を行っており、ホールがリニューアルされたのを機に、再び定期演奏会の舞台を戻すことに。今年度から復活する11年ぶりのタッグに、双方のファンは期待せずにはいられないことだろう。

### 大阪フィルハーモニー交響楽団

#### 2014年度前期 定期演奏会

第477回 4月4日(金)7:00PM~、5日(土)3:00PM~

第478回 5月28日(水)7:00PM~、29日(木)7:00PM~

第479回 6月26日(木)7:00PM~、27日(金)7:00PM~

第480回 7月18日(金)7:00PM~、19日(土)3:00PM~

第481回 9月25日(木)7:00PM~、26日(金)7:00PM~

料金/A席 6,000円 B席 5,000円 C席 4,000円

BOX席 7,000円 学生 1,000円(※3階席)

※4月公演のA席は完売

<http://www.festivalhall.jp/>

問い合わせ/

フェスティバルホール チケットセンター ☎06-6231-2221

大阪フィル・チケットセンター ☎06-6656-4890

※「定期演奏会 満喫講座」(4月4日・5月28日・6月26日)の申し込み・問い合わせは朝日カルチャーセンター中之島教室

(☎06-6222-5222)まで。

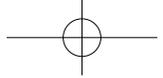
旧フェスティバルホールで定期演奏会を行っており、ホールがリニューアルされたのを機に、再び定期演奏会の舞台を戻すことに。今年度から復活する11年ぶりのタッグに、双方のファンは期待せずにはいられないことだろう。

昨年4月に生まれ変わったフェスティバルホールへ、大阪フィルハーモニー交響楽団が「帰ってくる」との朗報が届いた。かつて、大フィルは旧フェスティバルホールで定期演奏会を行っており、ホールがリニューアルされたのを機に、再び定期演奏会の舞台を戻すことに。今年度から復活する11年ぶりのタッグに、双方のファンは期待せずにはいられないことだろう。

首席指揮者には、ダイナミックで情熱的な手腕が評価されている井上道義氏(右写真)が新たに就任。4月の就任披露公演を皮切りに、5月、6月と、世界的に活躍するマエストロやソリストが続々登場。また、出演者を講師に迎え、プログラムの聴きどころや練習秘話が聞ける「定期演奏会 満喫講座」が朝日カルチャーセンターで開かれる。本番直前のリハーサル見学もできるチャンスを、どうぞお見逃しなく。



©Orchestra Ensemble Kanazawa



柳斎重春(四代目村歌右衛門の楽平)  
山村流六世宗家 山村若氏蔵



歌川広重(浪花名所図会 堂島米あきない)  
大阪歴史博物館蔵

## 浮世絵師の技が光る 上方絵の特別展



2代長谷川貞信  
(浪花百勝のうち  
堂島米市)  
大阪歴史博物館蔵

浮世絵といえは、葛飾北斎に歌川広重など、江戸で流行した「江戸絵」が思い浮かびがち。実は、京都と大阪を中心に発展した「上方絵」というジャンルがあった。

美人画が多い江戸絵と比べ、上方絵は役者を写実的に描いた絵や、町のにぎわいや名所を描いた作品が多いという。『浪花百景』、『浪花百勝』がそれらの代表だ。

大阪歴史博物館では、大阪と京都で流行した「上方絵」を集めた特別展が始まる。集まるのは、初公開作品15点を合わせた212件。上方絵の誕生と発展に触れ、紹介された名所をたどり、さらには京都と大阪のそれぞれの上方絵を比較してみるなど、およそ40年ぶりの大規模展だ。

日本ではあまり注目されてこなかったが、海外では大阪でつくられた浮世絵が特に

**大阪歴史博物館 特別展**  
「上方の浮世絵—大阪・京都の粋と技—」  
期間/4月19日(土)~6月1日(日)  
時間/9:30AM~5:00PM(金曜~8:00PM)  
※入館受付は閉館30分前まで  
休館日/火曜日(休日の場合は翌日休)  
※4月30日(水)は開館  
会場/大阪歴史博物館 6階 特別展示室  
入場料/大人1,000円(常設展との共通券1,500円)  
問い合わせ/大阪歴史博物館 ☎06-6946-5728

てはやされている。そのブームを受けて、上方絵の研究が進む近年。新たな視点で、大阪で活躍した絵師の技術を眺めたい。(江口由夏・本誌)

## この春、中之島に 新しいホテルが仲間入り



3月7日(金)、中之島の真ん中に、三井ガーデンホテル大阪プレミアが筆々オープン。場所は京阪電車渡辺橋駅から徒歩近い、土佐堀川沿い。今は東京にもホテル展開する三井ガーデンホテルズだが、1号店の大阪淀屋橋開業から今年で30周年を迎え、再び大阪市内に拠点を増やすこととなった。

開業前のホテルを横目に通り過ぎながら、オープンはまだかと焦っていた人も多いかもしれない。オフィス街に新しく仲間入りしたのは、中之

島の歴史や水辺になじむよう、和を意識したアースカラーの建物。春にはサクラが咲き乱れるエントランスガーデン、部屋の快適さを重視した「プレミア」シリーズ特有の内観、女性の身だしなみを気づかうサービスにも気合が入る。「駅に近く、周辺にホールや美術館があるエリアで楽しく一日を終えられるようなサービスをご提供します」と、副支配人の西原進介さんが意気込みを語ってくれた。(江口由夏・本誌)

**三井ガーデンホテル大阪プレミア**  
全室フローリングスタイル。最上階(16階)にはスパがあり、庭を望めるバスタブが楽しめる。3階~15階は客室。15階のレディースフロアには、女性に嬉しい美容機器が勢揃い。2階には、間宮吉彦さんデザインの和食レストラン「九州の旬 博多廊」が入る。施設詳細や宿泊予約は <http://www.gardenhotels.co.jp/osaka-premier/>まで。  
☎06-6444-1131



その黒田さんが、5月、京都センチュリーホテルのディナーショー「京阪電車を味わう夕べ・第二夜」に出演する。単なるウンチクでなく、路線や駅や車両、ダイヤが「なぜそうなっているのか?」の背景に切り込むユニークな視点からのお話が、美しいスライドと共に帰ってくる。



**京都センチュリーホテル**  
「京阪電車を味わう夕べ・第二夜」  
日時/5月5日(月・祝)  
4:00PM~7:00PM  
会場/京都センチュリーホテル  
1階宴会場  
入場料/夜の部  
(大人6,500円・小学生以上同額)  
予約・問い合わせ/☎075-351-0513

その他にもプログラムは盛りだくさんで、オリジナルグッズの販売やアフフェスタイルの食事もありと、充実のイベントだ。(天迫力・本誌)

## ナカノシマ大学ファンの諸君、 あの鉄道トークが帰ってくる!

「味がしっかりしていて、香りも強い。個性的なものばかりですね」  
大和伝統野菜の味について、料理長の井村浩一朗さんはこう表現する。大和伝統野菜とは、奈良県で伝統的に栽培されてきた品種のことで、豊かな歴史や物語性があるのも他にはない特徴だ。  
代表的なものの一つである「大和まな（真菜）」は、日本で最も古い野菜の一種とされ、『古事記』にも関連する記載があるという。他の葉もの野菜とは違う風味や甘さがあり、大きく伸びた形もとても野性的だ。  
「大和いも」や「大和丸なす」な



夜の「おもてなしコース」より。料理長が最も力を入れる前菜。椀ものは湯葉豆腐と吉野葛を打ったキス、煮物は鮎蛸、筍、ふきと旬を感じるものばかり。  
下ノ料理の主役を張る野菜たち。左の奥にあるのが大和まな。大きな葉ははやわらかい口あたりと甘さが魅力。

## 奈良の恵み、大和伝統野菜を活かす。

【奈良 十三屋】 ●懐石料理

ど、平城京のあった奈良時代から栽培されていたものや、「宇陀金ごぼう」「結崎ネブカ」「片平あかね」といった地域名を冠したのものなども含めて全部で18品目。収量が多くないこともあり、これまでほとんどが奈良県内で食べられていたが、最近になって少しずつ流通する範囲が広がってきた。そうしたままに奈良の恵みの味を引き出し、料理に取り入れていくのが井村さんの腕の見せどころ。  
「例えば、大和まなは苦味が強いのでよく水にさらしてアクを抜き、煮物に使う時は追い鰹をしたしつかりめのだしにします。クセ



の多い野菜ばかりですから、下ごしらえには一番気を使っています。大きさもバラバラなので、一つ一つの個体の味を見極めないといけない。『今日はどうしてあげようかな?』と、いつも考えながら料理をしています」  
春になり、ちょうど季節の変わり目。これから夏にかけて、また新しい野菜も届くようになる。  
「夏の花みょうがはふつくらと大ぶりで香りが強く、刻んでサラダに入れてもアクセントになるし、天ぷらにしても旨い。また、大和こだわり野菜の半白きゅうりは普通のものより水分が少ないので、味が通りやすく漬物にぴったりなんです」

まだ取り入れられていないものをはじめ、その味を料理によって伝えていきたいという井村さん。和食の基本である季節感を、大和伝統野菜によって表現することも大切だと感じている。

祝祭へようこそ。

FESTIVAL  
PLAZA

<http://festivalplaza.jp/>  
提供 / 株式会社 朝日ビルディング



じゅうそうや  
奈良 十三屋  
●中之島フェスティバルタワー 2F

本店は奈良県信貴山のふもとにある料理が評判の旅館。和食の基本に忠実に、味の強弱や色彩、器にもこだわった懐石料理がいただける。大和伝統野菜を中心に各地から旬の素材を集め、寿司や肉料理も取り入れられる。昼は日替わり膳(1,800円・税別)はじめコース5種、夜は懐石料理のコース6種。☎06-4708-8138 11:00AM~2:00PM(LO) 5:00PM~9:30PM(LO) 不定休

# 大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、みんな「島民」です!



## 『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅/京阪シティモール/京阪モール/デリスタ天満橋店/ホテル京阪天満橋/ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 [書店] 旭屋書店 梅田地下街店/カベラ書店/紀伊国屋書店 梅田本店/紀伊国屋書店 本町店/ジュンク堂書店 大阪本店/ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店/ジュンク堂書店 天満橋店/MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店/スタンダードブックストア/天牛球書店 大江橋店/ブックファースト 淀屋橋店/文教堂書店 淀屋橋店/隆祥館書店 [公共施設・大学関連施設など] アイスボット/朝日カルチャーセンター/味の素 食のライブラリー/ABC朝日放送/大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市中央公会堂/大阪市立中央図書館/大阪市役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪ボランティア協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪城スクエア/川の駅はちけんや/関西学院大学 大阪梅田キャンパス/慶應大阪リバーサイドキャンパス/国立国際美術館/CITY NAIL'Sインターナショナルスクール/芝川ビル/市立住まい情報センター/中央電気倶楽部/ホテルNCB/メビック扇町/立命館大阪オフィス/龍谷大学大阪梅田キャンパス [店舗・医院など] アリアスカ マーブルトレ/アンドーレ 本町本店/上町貸自転車/Ultra 2nd/江戸前料理 志津可/天満橋鍼灸整骨院/MJB珈琲店/大西洋服店/OOO(オー)/カセット/喫茶カウンター/喫茶SAWA/クラフティ中之島/黒門さかえ/コモンカフェ/サトウ花店 中之島本店/ザ・ロディ/シアルベストコーヒー新聞電ビル店/じろう亭/Girond's JR/心齋橋山田兄弟歯科/住友病院/セブンイレブン大阪証券取引所店/タビエスタイル/たまがわ鍼灸整骨院/東郷歯科医院/NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャーノ/バスターレ/花かつ/BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマニアカフェ/フレームハウス/ミニジロー/宮崎歯科/やきとりばかや/吉田理容所/ラクカニヤ/LES LESTON
- 大阪市内その他 [書店] 大阪書店/紀伊国屋書店 京橋店/なんばミヤタ/福島書店/柳々堂/ループル書店 [公共施設・大学関連施設など] 大阪社会福祉研修・情報センター/大阪市立図書館/川口基督教会 [店舗・医院など] あじさい/アートアンドクラフト/欧風食堂 ミリバー/大阪市信用金庫 江戸堀支店/御舟かもめ/Calo Bookshop and cafe/写真とプリント社/鳥かごキッチン/ネイルサロン スワナ/バルピコ/ホテル64オオサカ/MANGUEIRA/Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学運堂 フレスト店/Books 呼文堂/水嶋書房 くずはモール店/大阪狭山市立図書館/大阪大学企画部広報社/学運務務室/大阪大学 21世紀棟徳堂/大阪大学本部/寝屋川市役所/摂南大学 地域連携センター/郵政考古学会/ゆったりんこ
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/川のほとりの美術館/納屋工房/タバーン・シンボン/百練/奈良県立図書館情報館

## ◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

## ◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

## 次号予告 バラが咲いた。

中之島公園のバラ園に、堂島川沿いに咲く「バラの小径」、古くからバラに彩られた中之島のルーツと、その鑑賞法をご紹介します。

●『月刊島民』vol.70は2014年5月1日発行です!

編集・発行人/江弘毅(編集集団140B)  
編集・発行/月刊島民プレス  
若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)  
松本 創 江口由夏 大迫力(編集集団140B)  
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階  
Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341  
制作進行/堀西賢(ALEGRESOL)  
デザイン/山崎慎太郎  
表紙イラスト/奈路道程  
印刷/佐川印刷株式会社

中之島侍い子  
京都府庁旧本館  
（神宮丸太町駅からバス／地下鉄丸太町駅下車）  
※写真は一都合成です

去年の春より、  
すこし大人です。

# おけいはん、 とっておきの桜

桜の名所には、京阪電車で。

- 大阪 大阪城公園・さくら広場・ひらかたパーク・大阪市大附属植物園
- 京都 男山・石清水八幡宮・清水寺・円山公園・哲学の道・元離宮二条城・京都府立植物園・八瀬・大原・鞍馬・宇治橋上流・醍醐寺・山科疏水・仁和寺・嵐山
- 滋賀 石山寺・長等公園・坂本

- 京橋駅・七条駅間を  
上り約39分でノンストップ運転！  
(下り約40分)
- 運転区間：淀屋橋駅⇄出町柳駅
- 運転期間：  
3/21(祝・金)～5/6(休・火)の  
1日5本！  
土・日曜、祝・休日



ノンストップ  
京阪特急  
「洛楽」運転！



【毛馬桜之宮公園】  
天満橋駅・京橋駅下車



【淀川河川公園 背割堤地区】  
八幡市駅下車



【平安神宮】  
神宮丸太町駅・地下鉄東山駅下車



【三井寺】  
三井寺駅下車

詳しくは、京阪電車主要駅の  
K PRESS 2014春の増刊号をご覧ください。

＊「便利でお得なチケット」も発売！  
◎お問い合わせは…京阪電車お客さまセンター  
Tel.06-6945-4560  
平日：9時～19時 土・日曜、祝・休日：9時～17時

京阪の  
おけいはん人。



www.okeihan.net